

## 芳賀地区林業振興協会のH27活動紹介

芳賀地区林業振興協会は会員数42名で、富田 典行会長をはじめとして各会員が林業振興と森林資源の活用に向けて、地域の森林・林業の牽引者として活躍しています。

当地区は古くからシイタケ栽培や薪炭生産が盛んであり、里山の広葉樹林施業を取り入れた独特の森林・林業経営が行われています。比較的なだらかで奥深い森林も少ないなど地理的な条件は恵まれています。森林の所有形態が小規模・分散型であるため、施業の集約化を図る上で森林所有者間の連携・情報交換が重要となります。



平成27年11月13日(金)に芳賀地区林業振興会女性部会では、那珂川町の県北木材協同組合のバイオマス熱利用や農林産物の販売や展示方法について研修を行いました。

県北木材協同組合では、バイオマス発電をはじめバイオマス熱源を利用したウナギの養殖やマンゴー栽培などを視察し、今後の林業と他産業の連携等について学びました。



平成28年2月22日(月)に、河宇地区林業振興協会・宇都宮市林業振興会の3団体合同で佐野市の晃洋設計測量株式会社の無人航空機(ドローン)試験飛行場とGPSを利用した境界測量、住友大阪セメント株式会社のバイオマス発電と企業による植樹活動の取り組みについて研修を行いました。

森林施業のための調査は体力的、時間的に辛いことが多いですが、無人航空機(ドローン)を使うことにより早く安全に調査ができることなどメリットがあり会員からは強い関心がありました。また森林の境界について、GPSで測定した座標データがあれば、後継者等への引き継ぎがスムーズになるほか航空写真と境界を重ね合わせ視覚的な確認が容易にできるなどの利点などあり会員からは所有山林の境界を確定させ測量を実施してみたいなどの積極的な意見や質問がありました。

バイオマス発電は今年の研修に続いてですが発電規模や使用燃料のストックヤードの大きさに圧倒されました。また、企業による植樹活動についても活発な意見や質問が出されました。

なお、3団体合同で開催したこともあり総勢16名の参加となり、日帰りの研修でしたが往復のバスの車内では、最近の林業における情勢の説明や、会員間の情報交換等も行われ実りある研修となりました。



平成28年2月25日に茂木町飯地内の町有林において、富田会長が講師となり会員を対象として枝打等の森林整備講習会を実施しました。当日は早朝に積雪があり開催が心配されましたが12名の参加者で無事安全に終了しました。



H27林業経営コンクールにおいて富田典行会長が知事賞を受賞しました。

